

くり返される交差点の惨劇

2010年10月2日 埼玉

クレーン車にひかれ高校生死亡

さいたま市の交差点で2日朝、登校途中の男子高校生が大型クレーン車にひかれて死亡した。警察によると、2日午前7時20分ごろ、さいたま市北区の交差点で、大型クレーン車が左折しようとしたところ、自転車に乗っていた大宮商業高校2年・Tさんを前輪に巻き込み、後輪でひいた。Tさんは高校の文化祭の準備のために登校する途中だった。警察の調べに対し、H容疑者は「ぶつかるまで気づかなかった」と話しているという。

2010年5月13日 埼玉

横断歩道の男児、左折トラックにはねられ死亡

13日午後5時40分ごろ、埼玉県新座市内の県道で、6歳の男児が横断歩道を渡っていたところ、交差点を左折してきた普通トラックにはねられる事故が起きた。警察はトラックを運転していた38歳の男を逮捕した。現場は新座市大和田4丁目付近の県道で、信号機の設置された丁字路交差点。見通しは悪くないという。調べに対して男は「後方から音がするまで男児の存在にはまったく気づかなかった」などと供述しているようだ。

2009年7月14日 東京

横断中、ダンプに巻き込まれ 自転車の母子死亡

14日午前11時10分ごろ、東京都江東区新砂三の区道交差点で、横断歩道を渡っていたAさん（42）の自転車が、左折しようとしたダンプカーに巻き込まれた。Aさんと自転車前部の補助いすに乗っていた次男Cちゃん（2つ）の二人が全身を強く打ち死亡した。城東署によると、それぞれ青信号で交差点に進入したとみられ、容疑者から事情を聴いている

2009年6月3日 東京

小4男児はねられ死亡 トラック運転手を逮捕

3日午後3時5分ごろ、東京都町田市鶴間の国道16号交差点で、横断歩道を渡っていた近くの市立小4年、S君（9）が、左折してきた大型トラックにはねられた。現場は見通しの良い片側4車線の交差点で、信号は青だった。S同署は左折した際にトラックがS君を巻き込み、そのまま引きずった疑いがあるとみて調べている。

安全・安心な 歩車分離信号（代表例）

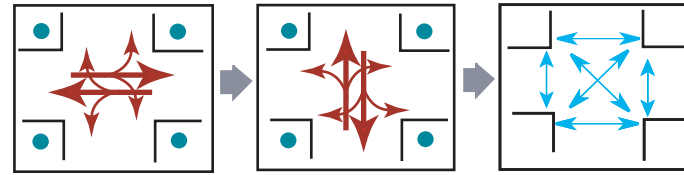
凡例

● 信号待ち歩行者

↔ 横断歩行者

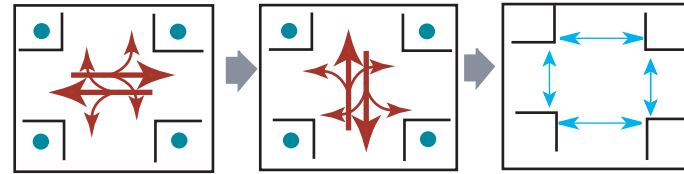
→ 走行車両

DRAWING 1
スクランブル式
歩車分離信号



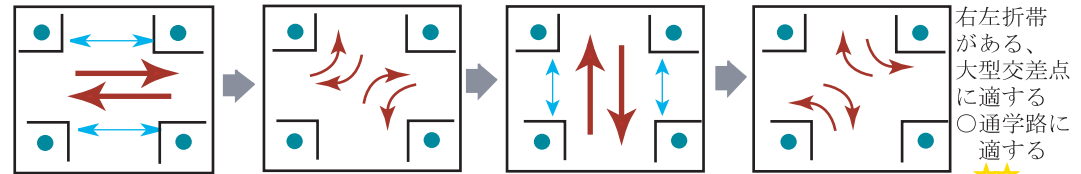
交差点全般、横断者の多い
繁華街の交差点等に適する
歩行者も利便性が高い
◎通学路に最適 ★★★

DRAWING 2
口型
歩車分離信号



歩行者専有時間を短くする
(信号サイクルを短くする)
のに適する。斜め横断禁止
○通学路に適する ★★

DRAWING 4
平行式
歩車分離信号



右左折帯
がある、
大型交差点
に適する
○通学路に
適する
★★

歩車分離信号は、分離の程度（完全分離・併用分離）や分離の方法（歩行者の横断方法）、時間の配分（信号のサイクル）等の要素を組み合わせることによって、道路環境に適したさまざまな分離信号をつくることが可能です。

全国100カ所を改善、歩車分離信号の試験運用

警察庁は、2002年1月から半年間、全国で100箇所の交差点を抽出し、歩車分離信号の試験運用を実施しました。

結果、歩車分離信号に改善された交差点の実績を総合すると、交通人身事故が約4割減少し、そのうち人対車両の事故は7割も減少するなど、安全面で大きな効果が認められました。また、懸念されていた交通渋滞は、2%減少しました。

警察署協議会で地域住民から歩車分離信号について意見を伺ったところ、7割以上の方が導入に賛成という結果を得たことから警察庁では全国に整備を進めていくこととしました。円滑より安全、歩車分離信号の普及促進が望まれます。



2002年9月 警察庁、試験運用の結果発表

| | |
|-------|----------------------|
| 全交通事故 | 118件から112件に約40%減少 |
| 歩行者事故 | 30件から8件に約70%減少 |
| 車対車事故 | 148件から103件に約30%減少 |
| 渋滞 | 15.1kmから14.85kmに2%減少 |